

2021年度（令和3年度）事業報告
（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1. はじめに

- （1）2021年は、ピンポン外交50周年を迎えた。50年前世界卓球選手権大会は1972年の日中国交正常化につながる大会であった。大会開催地の愛知県名古屋市で記念行事を行った。
- （2）また、東京オリンピック大会・パラリンピック大会及び北京冬季オリンピック大会・パラリンピック大会は新型コロナウイルス禍、無観客となったが、成功裏に開催され、日中両国の選手の活躍は記憶に残る大会となった。
- （3）この一年間は、前年度から引き続き新型コロナウイルス禍、感染対策を図り事業の実施をしてきましたが、日中両国間の往来に関する事業は前年度に引き続きやむを得ず中止や延期となった。

2. ピンポン外交50周年記念事業

1971年（50年前）、愛知県名古屋市で第31回世界卓球選手権大会が開催された。大会は日本卓球協会の尽力により中国選手団が復帰参加した。大会終了後、中国選手団は日本国内で交流を行い、日中国交正常化への弾みをつけた。また、アメリカ選手団を中国へ招待し、米中国交正常化への糸口となった。

8月25・26両日、(NPO)愛知県日中友好協会、愛知県卓球協会、新建文体クラブが主催、中国駐名古屋総領事館共催により「ピンポン外交50周年記念事業」が次のとおり開催された。二日間にわたる記念事業にはのべ約500名余りが参加した。

日 時：8月25日 13：00～ ピンポン外交スポット巡り
14：30～18：00 中日青少年卓球大会決勝戦

於：淳和記念館、県体育館

日 時：8月26日 10：00～12：00 ピンポン外交50周年記念国際シンポジウム
12：30～14：00 ピンポン外交50周年レセプション
10：00～14：00 写真展

於：ヒルトン名古屋

3. 協会の組織運営

- （1）今年度は、定時総会1回、定例理事会2回、臨時理事会1回及び業務執行理事会3回開催した。第13回定時総会（7月19日開催、書面議決）は2020年度事業報告と収支決算報告を承認した。
- （2）2021年12月末現在、41の都道府県日中友好協会（以下県協会と略す）が入会している。休会は徳島県、滋賀県、愛媛県の3県協会、未入会は宮崎県の1県協会。未組織は島根県、長崎県の2県である。
- （3）女性委員会等及び青年委員会等のある県協会は次のとおり。
女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、

東京都、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、三重県、京都府、大阪府、
兵庫県、和歌山県、岡山県、熊本県、大分県（21 県協会）

なお、新型コロナウイルス禍、全国女性委員会総会を開催できず。

青年委員会等：北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、
神奈川県、長野県、石川県、福井県、三重県、大阪府、和歌山県、岡山県
（16 県協会・増1）

なお、新型コロナウイルス禍、全国青年委員会総会を開催できず。

4.（公社）日中友好協会は中日友好協会とオンライン会議

新型コロナウイルス禍、相互訪問が困難な中、協会は7月19日、中国人民対外友好協会、
中日友好協会とオンライン会議を行った。会議を通じ、「協力体制強化」「相互サポート」「新
時代における民間友好交流の促進」をめぐり、率直な意見交換をした結果、広範な共通認識
に達したため、「共同文書」の発表に合意した。

協会からは、宇都宮徳一郎副会長、岡崎温理事長ら9名が出席、中日友好協会からは林松
添中国人民対外友好協会会長、程永華中日友好協会常務副会長ら4名が出席。

5. 青少年交流：第1回日中大学生スピーチ交流会

9月から11月にかけて「日中大学生スピーチ交流会」を実施した。新型コロナウイルス禍、
相互訪問は困難な中、青少年交流として、日本人大学生と在日中国人留学生在が二人一組の学
習パートナーとしてオンラインで交流・学習を通じて、中国語スピーチ（日本人大学生）と日
本語スピーチ（中国人大学生）を作り上げた。

第1回日中大学生スピーチ交流会のテーマは「日中の若者が考えるSDGs。」

1. 出願期間 2021年8月1日～2021年8月22日
2. 実施期間 2021年9月～2021年11月
3. 募集人数 日本人大学生15名、中国人留学生15名（計30名15組）
4. 応募者数 日本人大学生130名、中国人大学生98名 計230名
5. 日 程 8月下旬：オンラインで交流・学習開始
9月上旬～：学習の成果・今後の課題など事務局と1組ずつ進捗報告
10月下旬：交流会当日に発表するスピーチの原稿を提出
10月29日：オンライン事前交流会
（自己紹介、交流会への抱負や意気込みを日中両語で発表）
11月27日：中国文化センターにてスピーチ交流会及び懇親会を開催。

6. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 代表団・訪中団等の派遣

新型コロナにより渡航制限となり、訪中及び来日は困難のため該当事項無。

(2) 代表団・訪日団等の受入

新型コロナにより渡航制限となり、訪中及び来日は困難のため該当事項無。

(3) 中国関係機関との交流

7月19日 * (公社) 日中友好協会と中日友好協会とのオンライン会議

(4) 在日中国機関との交流

- 4月28日 * 伊藤洋平理事・全国青年委員会委員長ら中国大使館訪問、
聶佳参事官らと懇談。
- 6月11日 * 「美しい新疆」オンライン交流会 (主催：中国大使館)
- 12月14日 * 揚宇中国大使館公使来訪、岡崎温理事長と懇談
- 1月25日 * 日中国交正常化50周年を祝う九州日中友好大会
- 2月23日 * 全国青年委員会、中国大使館若手外交官とのオンライン交流会
- 3月8日 * 「2022年国際女性デー」(主催：大阪総領事館) オンラインレセプション
- 3月29日 * 「中日大学生フォーラム」(主催：中国大使館教育部)

(5) その他

- 6月8日 * 古越龍山紹興酒企画展
- 6月28日 * 「幸せな生活を追い求めて」中国貧困脱却成果展開幕式
- 7月1日 * 詩意中国・愛我中華 慶祝中国共産党結党100年
- 7月27日 * 国際少年児童アニメ・漫画絵画展 in TOKYO企画展開幕式
- 8月2日 * 扶桑緑2021日本華人美術家作品展開幕式
- 10月4日 * 2021福建省文化年・第3弾黄檗文化展セレモニー
- 10月28日 * 2021対話山東 文化と旅游オンライン交流会
- 10月29日 * 「中日友好杯」中国大学生日本語作文コンクールオンライン授賞式
- 10月30日 * 楊雪二胡コンサート2021
- 11月29日 * 「共に未来へ！北京冬季オリパラハウス」展示会開幕式
- 12月8日 * 「大地」田棲硯・馮学敏撮影展開幕式
- 12月20日 * 森羅万象現代アート書画展開幕式
- 12月20日 * 日本の伝統美 宝生能楽堂に集う

7. 中国語普及事業

(1) 第39回全日本中国語スピーチコンテスト

全国大会は1月9日、新型コロナウイルス禍都内の会場において無観客で開催した。

当日は、高校生部門6名、一般部門6名及び大学生部門10名が出場し熱戦を繰り広げた。最も優秀な人に贈られる日中友好協会会長賞には山形県の一般部門・松木裕花さんが受賞した。各部門の優勝者は次の通り。

- 高校生部門 峯岸実佑さん (埼玉県)
- 一般部門 松木裕花さん (山形県)
- 大学生部門 浅尾麗さん (兵庫県)

なお、都道府県大会は、22箇所(前回20箇所)で開催。145名(前回135名)が出場。該当県協会から高校生部門9名、一般部門17名及び大学生部門14名のエントリーがあり、11月21日に音源審査を行い、全国大会出場者を選考した。

朗読部門には、中学生・高校生の部 14 名、大学生・大学院生の部 13 名及び一般の部 13 名がエントリーした。音源審査の結果、各部とも 3 名が入賞、朗読発表を行った。都道府県大会には、332 名（前回 253 名）が出場した。

8. 留学生派遣事業

(1) 2020 年度公費留学生（中国政府奨学金生）派遣

オンライン授業の補足としてスピーチ交流会を開催

6 月 26 日 第 1 回公費留学生対象スピーチ交流会

8 月 12 日 第 2 回公費留学生対象スピーチ交流会

(2) 2021 年度公費留学生（中国政府奨学金生）派遣

中国教育部及び中国大使館教育部の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、19 名（1 名辞退）が決定した。しかし、新型コロナウイルスのため、昨年度に引き続き中国への留学（渡航）は実現せず、オンライン授業を受講している。

8 月 6 日 中国大使館教育部より入学許可書を受領。

8 月 9 日 中国大使館教育部主催の「2021 年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」
オンラインで開催。

9 月上旬 オンライン授業開始

※2022 年 3 月末現在、オンライン受講が継続している。

(3) 2022 年度公費留学生（中国政府奨学金生）募集・選考（2022 年 9 月留学）

1 月 5 日～1 月 20 日 出願受付（応募者数 34 名）

1 月 25 日 第一次選考（書類審査） 29 名合格

2 月 5 日 第二次選考（面接試験） 内定 20 名。補欠 2 名。

3 月 3 日 中国大使館教育部に公費留学申請書提出。

(3) 「留学生友の会」等の開催

8 月 9 日 「留学生友の会」開催。

9. 日中友好協会アリアケジャパン奨学金

(1) 2021 年度は、3 名の在日中国人留学生に奨学金の支給を行った。ただし、1 名は他の奨学金の受給が決まり 3 回目の支給から辞退した。なお、新型コロナウイルス禍、授与式は中止した。

(2) 2022 年度に奨学金の受給を希望する在日中国人留学生の募集・選考。

11 月 22 日～12 月 2 日 応募受付（応募者数 109 名）

1 月 25 日 第一次選考（書類審査） 17 名合格。

3 月 5 日 第二次選考（面接試験） 内定 3 名。補欠 3 名。

※内定者の内、4 月上旬進学を確認の書類を提出した者が合格となり、1 年間奨学金が支給される。

10. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 日中友好7団体提携

12月8日 *日中国交正常化50周年に向けて日中友好7団体が会合

(2) 後援・協力は公演・展覧会等51件

11. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は毎月1日付け、12回発行。

通常号は12ページで発行。10月1日付け及び1月1日付け号は16ページで発行。

② 「友好手帳」2022年版を9月に発行。

③ 雑誌「人民中国」の販売。

(2) 講演等

5月22日 *丹羽宇一郎会長、大阪府日本中国友好協会講演会で講演。(新型コロナウイルス禍のためオンライン講演となる。)

7月18日 *橋本逸男副会長、日中協働リーダー育成プロジェクト・日中FUFANサミットにゲストとして参加。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため、2021年度中、中止や延期した主な事業は次のとおり。

【中止した事業】

1. 日中友好ボーリング大会
2. 日中友好7団体提携「2021年中国大使館・日中友好団体新年会」
3. 「東西2ブロックに分けて協会実務者会議」
4. 「2022年日中友好新年会」(NPO) 東京都日中友好協会と共催)

【2022年度に延期した事業】

1. 協会創立70周年記念事業「日中友好協会会員所蔵中国美術工芸品展」(仮称)
2. 第17回日中友好交流会議

以 上